

かれんと

No.45

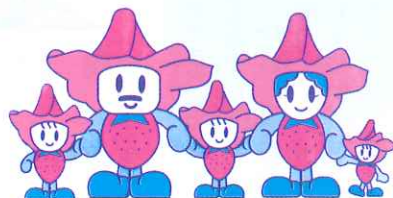
2014.9.25

Current:カレント
時代の流れあるいは
新しい潮流

女性自治会役員さんから学ぶ「これからの自治会」

今号では、現在鹿沼市自治会にて活躍されている3人の女性自治会役員さんにインタビューをしました。

鹿沼市では、2年前に男女共同参画都市宣言をしましたが、まだまだ意思決定の場に女性の声が十分に届いているとは言えません。そんな中、数少ない女性リーダーとして活動されている3人に、豊かな地域社会のために、男女ともに考え、ともに明るい社会を作るヒントを教えてくださいました。



女性が輝いている団体を紹介しす

NO.3 【鹿沼市農村生活研究グループ協議会】

豊かでゆとりあるライフスタイルの実現と、農村女性の地位向上を目指し、男女共同参画を視野に入れた活動をしています。(会員52名 30～70代)

【健康づくり講習会】を開催して会員同士の交流をしています。毎年盛りだくさんの内容で楽しく活動しています。



【消費生活展】に参加し、農業に関するパネル展示や野菜・加工品の販売もしています。

毎年12月に開催の【こんにやくづくり教室】は、大好評です!!

6月28日に開催された講習会取材させていただきました。「フォークダンス」で心も体もウキウキ♪「野菜を美味しく食べよう」では、鹿沼の野菜にほれほれました。

主な内容

- P1
 - ・女性自治会役員から学ぶ
 - ・団体紹介
- P2～P3
 - ・自治会女性役員インタビュー
- P4
 - ・人権推進課より
 - ・イチオシ!
 - ・ひとくちメモ
 - ・編集後記

*「かれんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。

鹿沼市

連合会長から一言

何事にもバランス感覚は必要なこと。自治会活動も例外ではありません。男性から見た視点、女性から見た視点が有機的に結合して初めて、一人一人が楽しく生きがいを持って生活できる自治会の目的がうまく達成されるのだと思っています。自治会はまだまだ男社会、決して好ましい傾向ではありません。女性方の参加があって初めて自治会に関心を持っていただけるポイントとっております。皆さんのさらなるご活躍と多くの女性の方の参加をご期待申し上げます。(鹿沼市自治会連合会会長鈴木節也さんより)



磯町 会計
大類信子さん



千渡 会計
大橋光江さん



幸町1丁目
副会長
根津千ヨさん



司会進行
かれんと編集長
福田万里子

男性は女性を避けているわけではない。
勇気を出して飛び込んで！



Q.自治会役員になって感じたことは？

根津：私の地域では、支部長や会計など女性パワーがすごいです。名簿に登録している名前も男性ではなく女性の名前になっています。活動の1つとして廃品回収があり、男性も女性も沢山協力して参加しています。女性役員に対してもとても理解があり、とても良い環境の中で活動していると感じています。

女性役員の視点から

大橋：私が入ったころは、女性役員は11人中2人でした。当初女性の意見はスルーされることが多かったのですが、今年更に一人増員により、随分変わってきました。様々な意見を投げかけることができ、問題の共有化がされてきています。受け身の進出はダメですね。

大類：私の自治会では、旦那さんが忙しい場合は奥さんが参加して、女性でも抵抗なく活動しています。「女でもいいんだ。」と、思いました。役員会議の時、輪が和むように冬は暖かいお茶、夏は氷を入れたお茶を持って行ったりしています。

まだまだ鹿沼の自治会は男性社会と思つていましたが、お話を伺うと、地域の特色はあるものの、どこの自治会も女性役員が生き生きと活躍できる場があるようです。



根津：2ヶ月に一度支部長会議を開いて、また入会していない方の情報交換をしています。未加入の方にも広報や自治会だよりをポストに入れさせていだいて、自治会のよさを理解し、入会してもらえる様工夫しています。

幸町にはアパートがたくさんあるので、大家さんと交渉して会長と何度も足を運び、今ではほとんど加入してもらっていますね。

大橋：千渡の自治会加入率は約60%です。脱会の理由で多いのが「独り暮らしのため」なんです。高齢者の一人暮らしの方にごそ入ってほしいですね？

そこで、今年度から千渡自治会ユースを年4回発行して、問題提起、情報提供、そして地元ならではの面白いものを載せることになりました。

一人一人が自治会に入っていてよかったと思える、魅力ある組織にしていきたいです。



工夫と努力で自治会への参加を活発に

魅力ある自治会をめざし、様々な工夫や努力をしていることがわかりました。女性のきめ細やかな配慮とフラットワークの軽さが、自治会加入率UPに貢献しています。



女性が大活躍！
幸町1丁目 廃品回収風景

大類：自治会離れは…ほとんどないですね。数件だけです。高齢者に対しては、見守り隊やほつとサロンなど、自治会で協力してやっています。独居老人の方とは、行くときたくさんおしゃべりしてしまいます。

また、2年に一度の企画で、ビーチバレーを計画中です。カラオケ大会では、南押原全体で協力して、榎木小の体育館をお借りしてやっています。やはり歌うことはいいですね。健康の源です。

一鹿沼市自治会の女性役員の数

平成26年度 実質役員数 486人 (内女性役員 17人) 自治会数145

かれんと編集員調べ



Q.自治会の役割とはなんでしょう？

根津：以前は自治会は楽しくやればよいと思いながら活動していましたが、東日本大震災を受けて住民同士が協力しなくてはいけないと思いました。震災後、一人暮らしのお年寄りから心配や不安の声が聞かれ、すぐに会議を持ち、9月の第1日曜日は震災や災害の訓練の日にしました。いざとなった時は自治会が大切、隣近所が大切ですね。日頃から近所の方と心を合わせまし



9月第1日曜日に防災訓練を実施

ようと声掛けをしています。

災害とまちづくり

大橋：自治会の役割は何かの災害が起きた時に即座に支援ができること。いざというときに本当に動ける組織になっているのかと、現在は、総会資料の会則や自主防災会組織表の見直しをしています。それ以外は、イベントも事業も楽しみとして年3回程度行っていますが、災害の時にもそれらの交流のお陰で地域が動けるのだと思います。

大類：自治会ではお年寄りやお子さんを見守ることも大切だと思います。それには声掛けが肝心ですが、挨拶をしていたら、子どもの方から「おばちゃん、おはよう」と声をかけてくれたのは嬉しかったです。地域がしっかりしていると悪い人がいなくなると思います。隙がないから、「悪いことできないな」と。



平成23年度
上粕尾の台風被害



自治会の役割は、いざという時の備えや助け合いなんです。緊急時に男女が協力して取り組めるよう、日頃から地域の女性リーダーが活躍されることが望まれます。

Q.自治会以外の活動についてもお聞かせ願いますか？

皆さんのワークライフバランス

根津：保護司をしています。まず信じていることから始まると思っています。フラダンスが大好きで色んなところを回って公演させていただいています。その他、食生活改善推進委員もしています。



インタビュの合間も楽しいおしゃべり
大橋：子どもが小さいときは、生協の活動をしていました。生協と自治会活動は通じるころがありますね。民生委員もしています。良いものを求めたいというのが私の原点。良い世の中にならしてほしいという気持ちはずっと変わらないですね。

大類：自治会以外だと見守り隊とホットサロンの店長をやっています。

ホットサロンは地域のお年寄りに声をかけて、月に1度2時間くらい開催しています。1回100円でお茶とお菓子を出しておしゃべりをしていて、人数は15名くらいかな。

自治会の協力により民話



人権推進課課長、かれんと編集員も一緒に、素敵な笑顔！



「これからの自治会では、お年寄りを温かく見守り、未来を担う子ども達を地域で育てたい。そのためには一人では無理。みんなで協力して進んで行こう。」というお言葉を頂きました。

様々な立場の人たちがそれぞれ支え合える地域づくりが必要ですね。有意義なお話をありがとうございました。

*****人権推進課より*****

男女共同参画セミナーinかぬま 開催しました

第1回 8月25日(月) 鹿沼市民情報センターにて

講師に上都賀教育事務所の片桐巨博先生をお呼びし、今年度のテーマ「身近な男女共同参画は家庭から」に沿って、コミュニケーションを磨くためのワークショップが開かれました。

初対面にも関わらずみなさん楽しそうにおしゃべりされていたのが大変印象的でした。知っているつもりでも、意外と知らない身近なあの人。恥ずかしがらずにほめ上手になろう!など、コミュニケーションを豊かにするためのヒントをたくさんもらえました。



<開催予告>

平成26年度

鹿沼市男女共同参画社会づくり リーダー育成研修会

ホップdeジャンプ

平成27年2月6日(金) 18:30 開演
(18:00~受付)

会場 鹿沼市民情報センター
(2階 子育て情報室)

入場無料・一時保育、
要約筆記あり

主催 鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会
鹿沼市・鹿沼市教育委員会

※内容など、詳しくは、「広報かぬま」
1月号(12月25日発行)に掲載予定



夫やパートナーとの関係に苦しんでいませんか? ひとりで悩んでいないで、相談してください。
女性に対する暴力をなくす運動 平成26年11月12日~11月25日
鹿沼市 鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会

お問い合わせ、お申込みは 人権推進課男女共同参画係
電話 0289-63-8352
FAX 0289-60-1001



ひとくちメモ

「リプロダクティブヘルス・ライツ (性と生殖に関する健康と権利)」

産む、産まない、いつ、何人産むかは、その人自身が決めて行動することです。6月18日に国会で起こった「セクハラ野次」は、「リプロの侵害」について考えさせられますね。あなたは不用意な発言で、人権侵害していませんか?

紙面を読んで、「ためになる」「楽しい」「なるほど」そんな情報を市民の皆様発信していきたいです。

(高橋和子)

編集後記



かれんと1号から22年が経ち、1面では、前号から女性が活躍する団体紹介をシリーズ化しました。今回は、編集員がインタビューに行き実際に活動した生の声や感じたことを記事にさせていただきました。

♥かれんとイチオシ!♥
「ステップフォード・ワイフ」
ジョアンナはニューヨークでやり手のテレビプロデューサーとして働いていたが、ある事件を発端にクビになつてしまふ。失意の中、夫の提案で家族とともにステップフォードに引越すことに。治安も良く、豊かで美しい町。しかしその町の女性達には恐ろしい秘密が…。

2004年(米)ニコール・キッドマン主演

原作は『ローズマリーの赤ちゃん』のアイラ・レヴィン。

夫婦の力関係が、どちらかに極端に片寄ったとき、何かが起るのかもしれない。

